

校訓「進取創造」



わかむぎ

コミュニティ・スクール
昭和町立押原中学校
令和5年3月13日発行
No.10

明るく・楽しく・前向きに 発行者：校長 柴 茂生

ホームページ URL : <http://oshi-jhs.sakura.ne.jp/seito/blog.cgi>



第76回卒業証書授与式

3月9日、温かい穏やかな日差しのもと、210名の卒業生が巣立っていきました。感染対策を徹底することで、今年度は、保護者の参加や在校生(2年生)の送辞と合唱、そして、卒業生の答辞と合唱、呼びかけなど実施することができました。

8時55分、保護者、来賓、教職員の温かな拍手に迎えられ、コサージュをつけた卒業生が入場しました。担任の呼名にしっかりと返事をし、卒業証書を受け取る姿は、中学校生活の満足感と今後の希望に満ちたとても立派な姿でした。

2年生の(送別の)合唱は、「越えてゆけ」でした。卒業生への感謝の気持ちがこもった合唱は、卒業生に十分伝わるものでした。生徒会長の志村 勇太さんの送辞も卒業生への思いが詰まった内容で、押原中の伝統を卒業生から受け継ぐことの誇りを感じさせるものでした。

卒業生の呼びかけは、コロナ禍で思い通りできなかった学校生活の中で、新しい挑戦を試みたという満足感。仲間がいることの素晴らしさと団結することで大きな力が生まれること。何事にも諦めない気持ちなど、充実した3年間の気持ちが伝わってきました。卒業生代表の八木野航平さんの答辞は、制限された学校生活の中でも創意工夫して実施した若麦祭を始め、思い出を丁寧に語り、卒業生全員の思い出を共有する時間になるとともに、先生方への感謝、保護者の方への感謝の気持ちもしっかり伝わる内容でした。卒業生のお別れの合唱、「決意」「未来へ」は、限られた時間の中、取り組んだ学年合唱で、美しいハーモニーと全員の



気持ちが一つになった歌声は、とても感動的でした。



ご臨席の塩澤浩町長様をはじめ来賓の方々もとても感動していただき、素晴らしい卒業式だったとの感想を頂きました。

また、保護者の皆さまには、最後の学活を別教室でリモートでのライブ視聴をしていただきましたが、後日のアンケートで大変良かったという感想をいただきました。

今年度の卒業式は、コロナ感染対策をしながら、教職員が工夫を凝らし、それに応えた卒業生の思いが伝わる素晴らしい卒業式となりました。

卒業式の実施にあたり、ご理解、ご協力をいただきました来賓の方々、保護者の皆さまに感謝いたします。職員一同お礼申し上げます。



制服意識調査

制服における寒さ対策やジェンダーレス化に関わる制服アンケートの結果です。ご協力ありがとうございました。ただし、「制服の見直し」がすぐはじまるということではありません。

○現在の制服について

生徒と保護者の意見は、同じ傾向があり、全体的に満足している。一方で暑さ寒さへの対応については改善して欲しいが多くあった。

○今後の制服について (図1)

男子は現在の制服を継続して欲しいという意見が38%、スカートとスラックスの選択希望が29%

女子は現在の制服を継続して欲しいという意見が18%、スカートとスラックスの選択希望が66%

保護者は現在の制服を継続して欲しいという意見が11%、スカートとスラックスの選択希望が64%

○スカートとスラックスの選択の場合について (図2)

生徒はブレザーが87%、現行の制服が10%でした。保護者も同様の傾向が見られた。

※意見としては、伝統ある現在の制服に対する思いと、寒さ対策やジェンダーレス対応という意見が多く見られました。今後、今回のアンケートを参考にしていきたいと思います。

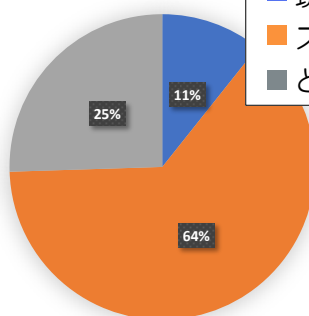
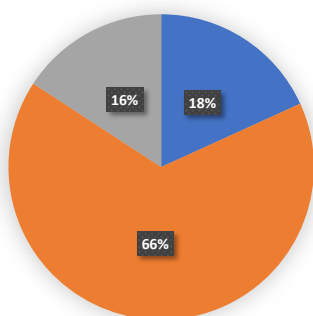
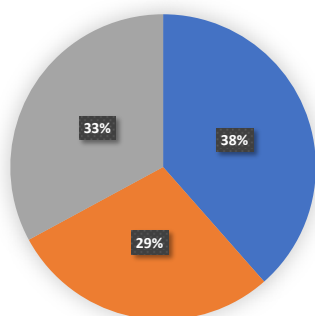
図1

男子

女子

保護者

今後の制服のについて (希望)



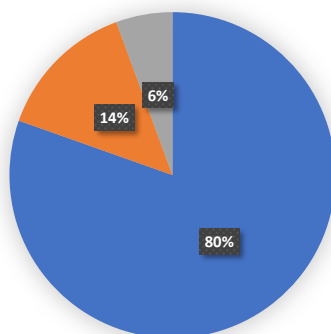
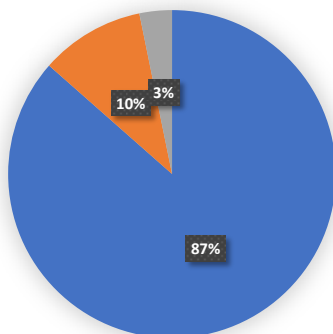
■ 現在の制服を継続
■ スカート・スラックスの選択
■ どちらでもない

図2

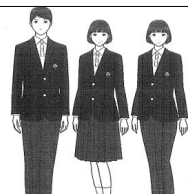
生徒

保護者

スカート・スラックスの選択の場合・・・



■ ブレザー型で
■ 現在の制服で
■ その他



ブレザー型



現在の制服

1年間 ありがとうございました

令和4年度が終了しようとしています。様々な制約の中での生徒たちの頑張りや成長は、私たち職員にも数々の感動をもたらしてくれました。保護者、地域の皆様には本校教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。新年度も、私たち教職員は、生徒のより良い成長のために全力を尽くす所存です。今後とも、よろしくお願いいたします。

